

年 組 ( ) 名前

サイン

# モルモル初代王者に「へぎ」



## 足立区生物園「総選挙」

足立区生物園が飼育するモルモットの人気ナンバー1を決めるイベント「モルモル総選挙」の結果が3日発表され、クリクリの目が魅力の「へぎ」が1位に輝いた。初めて開催された総選挙には、41匹が「立候補」。10月18日から13日間にわたった選挙戦では、同園のウェブサイトに各候補の写真やキャッチコピーが掲載され、それぞれ支持の拡大を図った。

1位に選ばれた「へぎ」は、「端正な顔立ちが素敵です」などと多くの支持を得て、総投票数1598票のうち、181票を獲得した。2位は「みたらし」(164票)、3位は「おにぎり」(137票)が続いた。同園広報担当の大川尚さん(42)は「コロナ禍で、来園者とモルモットの触れ合う機会が制限されてきたが、今回は大きな反響を得られた」と喜んでいった。

(2022年11月4日 読売新聞都民版より)

写真は上から「へぎ」「みたらし」「おにぎり」  
＝いずれも足立区生物園提供＝

※先生やおうちの人といっしょに読みましょう。

【1】写真に写っているのは何という動物でしょうか。

--	--	--	--	--

【2】写真の3匹のうち、どれが好きですか。その理由も書きましょう。

◆東京都の足立区生物園が飼っているモルモットの人気ナンバー1を決めるイベント「モルモル総選挙」が行われ、「へぎ」が1位に選ばれました。

## 端正な顔立ち 支持集め



年 組 ( ) 名前

サイン

# 残骸1億個 地球覆う

宇宙ごみは、運用を停止した人工衛星や、切り離されたロケットの部品など、コントロールできなくなった人工物体。なかでも人工衛星は60年代以降、年々打ち上げられる数が増え、すでに役目を終えているものも多い。それらが互いに衝突したり、意図的に破壊されたりすることで、地球の周りに小さな宇宙ごみが増えていったと

考えられている。

アメリカ航空宇宙局(NASA)の推計によると、2021年時点で、大きさ10cm以上のものは約2万3000個、1mm以上の微細なものも合わせると1億個を超えるという。

## 1cmで小型車並み威力

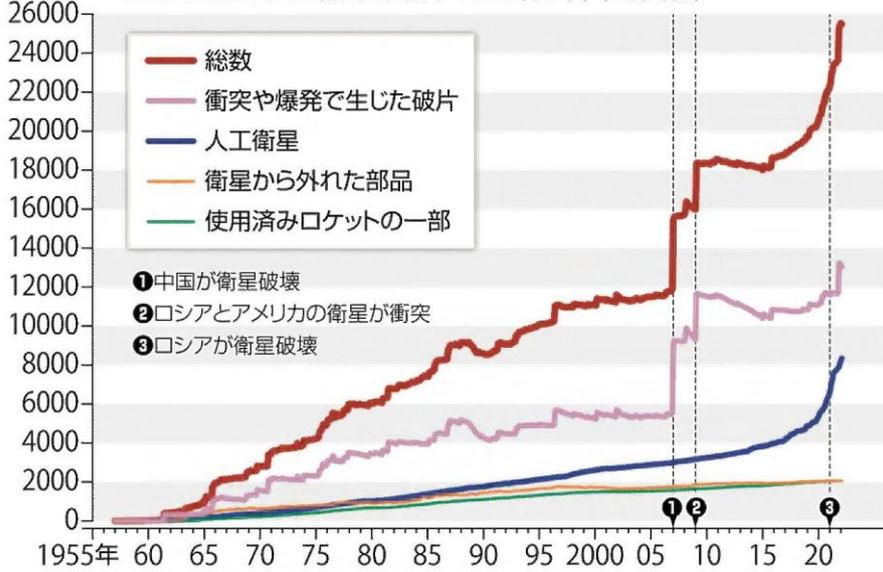
宇宙ごみは、地球近くの宇宙空間を浮遊しているのではなく、あ

る程度のスピードで一定の軌道(道筋)をぐるぐる周回している。そのスピードは一般に秒速7~8km。ライフル銃の銃弾の7、8倍に相当する速度だ。そのため、衝突時に発するエネルギーはすさまじく、1mmの宇宙ごみでも時速100kmの野球ボール、1cmだと時速70~80kmの小型車にぶつかったぐらいの衝撃があるといわれる。

◆宇宙ごみが増え続けます。問題点や対策を考えましょう。

### 宇宙ごみは増え続けている

※NASAまとめ。人工衛星は運用中のものも含む(今年3月時点)



(2022年11月25日 読売中高生新聞より)

## 新たな衛星 打ち上げの妨げ

近年、宇宙ごみの問題がクローズアップされるようになった背景には、人工衛星の打ち上げ量が、ここ10年ほどで飛躍的に増えたことがある。それ自体、将来的に宇宙ごみをさらに増やす原因になりかねない一方、新たに衛星を投入できる軌道が限られてきていることも大きな課題とされる。

インターネットや通信機器などの発達により、いまや私たちの便利な暮らしは、さまざまな衛星から送られてくるデータなしには成り立たない。その反面、2010年代初めに年間100基ほどだった衛星の打ち上げは、21年には約1800基に急増している。結果として、高度200~1000kmの地球の周回軌道は、多種多様な衛星がひしめき合い、すでに「混雑、状態にある」といわれる。

一方、宇宙ごみとなった衛星の残骸も、同じぐらいの高さの軌道に集中して存在する。つまり、今ある宇宙ごみを掃除することは、新たに衛星を投入する軌道を生み出すことにつながるのだ。

【1】宇宙ごみが増え続けると、どのような問題があると思いますか。あなたの考えを書きましょう。

【発展問題】宇宙ごみの回収や処理については、日本企業が世界をリードしていると言われています。さまざまな取り組みを調べて裏に書きましょう。

年 組 ( ) 名前

サイン

# 直木賞・今村さん「本のサンタ」に

## 話題

経済的に恵まれない家庭の子どもたちのため、全国の書店を通じてクリスマスプレゼントに本を贈る取り組みがある。直木賞作家にして、大阪府箕面市の書店の経営者でもある今村翔吾さん(38)がこの「ブックサンタ」運動に参加することになり、11月27日にPRイベントが開かれた。今村さんは断言する。「誰かの人生を変えたり、生きる支えになったり。本にはそんな力がある」



子どもにサイン入りの著書を手渡す今村さん(右)

## 大阪でイベント「物語届ける」

◆直木賞作家の今村翔吾さんが、「ブックサンタ」運動を応援するイベントに参加しました。

## 5万人が心待ちに

ブックサンタ運動は2017年、NPO法人「チャリティーサンタ」(東京)の呼びかけで始まった。全国779か所の「パートナー書店」やオンライン書店で本を購入すれば、このNPOを通じて12月24日のクリスマスに本が届けられるという仕組みだ。今年は約5万人の子どもがプレゼントを待っているという。

小学生で歴史小説にハマり、中学生の頃は池宮彰一郎さん(2007年に83歳で死去)や浅田次郎さん(70)の単行本をクリスマスプレゼントにねだっていた今村さん。出演しているテレビ番組で「ブックサンタ」の存在を知り、すぐに協力することを決めた。「自分が誰かのサンタクロースになれるって、こんなにうれしいことはない」と思ったからだ。

## トークショーも

今村さんが1年前に経営を引き継いだ「きのしたブックセンター」の会場には、NPOの代表を務める清輔夏輝さん(38)も駆けつけた。2人のトークショーで今村さんは、来場者に「子どもに本を贈るということは、『物語』を届けるということでもある」と運動の意義を説明。「作家仲間にも声をかけ、来年は1万冊を購入させます」と宣言した。



だまされたと思って、手に取ってみて

～今村さんから読売中高生新聞の読者にメッセージ～  
「感受性が豊かになる」や「語彙が増える」。読書の意味と効果は色々と言われていますが、きっとそれだけじゃない。だまされたと思って、まずは本を手にとってみよう!



(2022年12月2日 読売中高生新聞より)

【1】「ブックサンタ」運動とはどのようなものか、インターネットでも調べて説明しましょう。

【発展問題】本のプレゼントを待っている子どもたちのために、あなたならば何ができますか。具体的なアイデアを考えて、裏に書きましょう。



学校名 [ ] 学年 [ ] 氏名 [ ] 年齢 [ ] 性別 [ ]

必ず記入 しましょう。

10大ニュースを選ぼう!

◆読売新聞では毎年12月に、今年の10大ニュースを読者の投票で決めています。日本と海外それぞれに、候補の中から選びます。日本のニュースを見てみましょう。

12月3日の読売新聞朝刊や、読売新聞オンラインで、くわしい内容がわかります。https://www.yomiuri.co.jp/



日本

【問】右の「今年のニュース」から、上位10個を選んで、番号を書きましょう。

Grid for selecting top 10 news items.

- 1月 ①箱根駅伝、青山学院大が優勝 ②iPS細胞で慶大が世界初の脊髄治療 ③大学入学共通テスト、問題流出 ④埼玉立てこもり、医師撃たれ死亡
2月 ⑤作家・元都知事の石原慎太郎さん死去 ⑥北京五輪、日本勢のメダル冬季最多 ⑦新型コロナ感染者、1日あたり10万人超え ⑧藤井聡太竜王が最年少五冠 ⑨強制不妊で国に初の賠償命令
3月 ⑩北京パラ、日本勢メダル7個 ⑪宮城・福島で震度6強、新幹線脱線 ⑫東電管内で初の電力需給逼迫警報 ⑬プロ野球観客上限なしで開幕 ⑭「ドライブ・マイ・カー」が米アカデミー賞
4月 ⑮改正民法施行、成人年齢18歳に ⑯「プライム」など東証新区分スタート ⑰漫画家の藤子不二雄Aさん死去 ⑱ロッテ・佐々木朗希が完全試合 ⑲知床観光船沈没事故
5月 ⑳経済安保法成立 ㉑沖縄本土復帰50年 ㉒山口・阿武町が4630万円誤給付
6月 ㉓堀江謙一さん、最高齢で太平洋横断 ㉔ボクシング井上尚弥、3団体統一王者 ㉕リュウグウ試料からアミノ酸23種
7月 ㉖日大理事長に作家の林真理子氏 ㉗KDDI、全国で通信障害 ㉘安倍元首相が撃たれ死亡、9月に国葬 ㉙参院選で自民大勝 ㉚羽生結弦、プロ転向を表明

- 8月 ㉛服飾デザイナーの三宅一生さん死去 ㉜大谷翔平、ルース以来の2桁勝利2桁本塁打 ㉝第2次岸田改造内閣発足 ㉞服飾デザイナーの森英恵さん死去 ㉟五輪汚職、組織委元理事ら逮捕 ㊱夏の甲子園で仙台育英優勝、東北勢初 ㊲政府が新型コロナ全数把握見直し
9月 ㊳囲碁・藤田怜央君、9歳4か月で最年少プロに ㊴3歳女兒、通園バスに取り残され死亡 ㊵西九州新幹線開業 ㊶日中国交正常化50年
10月 ㊷アントニオ猪木さん死去 ㊸物価高騰、商品値上げ相次ぐ ㊹ヤクルト村上が56号本塁打、三冠王 ㊺北ミサイル発射相次ぐ ㊻鉄道開業150年 ㊼東工大と医歯大、統合で合意 ㊽32年ぶり円安、1ドル=150円突破 ㊾蟬川泰果がゴルファー日本一、アマ95年ぶり ㊿辞任ドミノ、閣僚更迭相次ぐ ㊽㉑王将社長射殺容疑で暴力団幹部逮捕 ㊽㉒オリックス26年ぶり日本一
11月 ㊽㉓セブン、「そごう・西武」売却へ ㊽㉔旧統一教会が政治問題化、文科相が質問権行使 ㊽㉕政府の有識者会議が防衛力強化を提言 ㊽㉖サッカーW杯で日本代表熱戦

(2022年12月3日 読売新聞朝刊より)

学校名 [ ] 学年 [ ]  
氏名 [ ] 年齢 [ ] 性別 [ ]

必ず記入  
しましょう。

# 10大ニュースを選ぼう!

◆読売新聞では毎年12月に、今年の10大ニュースを読者の投票で決めています。日本と海外それぞれに、候補の中から選びます。海外のニュースを見てみましょう。

## 海外

12月3日の読売新聞朝刊や、読売新聞オンラインで、  
くわしい内容がわかります。https://www.yomiuri.co.jp/



【問】右の「今年のニュース」から、上位10個を選んで、番号を書きましょう。


- 1月**
  - ①米英仏中露「核戦争せず」
  - ②トンガで大規模噴火
- 2月**
  - ③台湾、福島県産食品の禁輸解除
  - ④ロシア、ウクライナ侵略開始
  - ⑤原油急騰、100ドル突破
  - ⑥米連邦最高裁判事に初の黒人女性
- 3月**
  - ⑦米FRB、ゼロ金利政策を解除
  - ⑧中国で旅客機墜落、132人死亡
  - ⑨EU、デジタル市場法案を最終決定
  - ⑩上海市が都市封鎖開始
- 4月**
  - ⑪米企業、ISS旅行開始
  - ⑫ロシア、新型ICBM試射成功発表
  - ⑬国連、拒否権行使に説明求める決議
- 5月**
  - ⑭尹錫悦・韓国大統領就任
  - ⑮北欧2か国、NATOに加盟申請
  - ⑯アルバニージー豪首相就任
  - ⑰米国で銃乱射事件相次ぐ
- 6月**
  - ⑱核兵器禁止条約、初の締約国会議
  - ⑲米最高裁「中絶権利」認めず
  - ⑳G7、途上国食料支援の首脳声明発表
  - ㉑露大統領、サハリン2の資産移譲を命じる
  - ㉒マルコス・フィリピン大統領就任
- 7月**
  - ㉓スリランカ大統領辞任発表
  - ㉔ECB、政策金利引き上げ決定
  - ㉕WHO、サル痘感染で緊急事態宣言
  - ㉖フィリピンのラモス元大統領が死去
- 8月**
  - ㉗NPT会議開幕
  - ㉘アル・カーイダのザワヒリ容疑者殺害
  - ㉙ペロシ米下院議長が台湾訪問
  - ㉚ペトロ・コロンビア大統領就任
  - ㉛米韓合同軍事演習開始
  - ㉜新型コロナ感染、6億人突破
  - ㉝元ソ連大統領のゴルバチョフ氏死去
- 9月**
  - ㉞北朝鮮、核先制使用の法令採択
  - ㉟エリザベス英女王死去
  - ㊱テニスのフェデラーが引退表明
  - ㊲イランで大規模な反政府抗議デモ
- 10月**
  - ㊳ジャッジがア・リーグ初の62号本塁打
  - ㊴タイで託児施設襲撃
  - ㊵ウクライナ人権団体などにノーベル平和賞
  - ㊶米FRB元議長らにノーベル経済学賞
  - ㊷メローニ伊首相就任、女性初
  - ㊸中国で習近平総書記の3期目政権発足
  - ㊹スナク英首相就任、首相交代相次ぐ
  - ㊺マスク氏、ツイッター社買収完了
  - ㊻ソウル・梨泰院で雑踏事故
  - ㊼ブラジル大統領選でルラ氏返り咲き
- 11月**
  - ㊽米中間選挙、野党・共和党が下院勝利
  - ㊾トランプ氏、次期米大統領選出馬へ
  - ㊿世界人口80億人、国連発表
  - ㉑W杯カタール大会開幕
  - ㉒中国の江沢民元共産党総書記死去

(2022年12月3日  
読売新聞朝刊より)